

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1年	2	必修
担当教員			
後藤 小百合・渕上 勇次郎・河合 博子・田中 敬幸・美藤 信也			
C (商学部)	S (専門科目)	BA (経営)	101 (基礎・入門科目)

授業のねらい (概要)	経営学に関する動機付けを図るとともに、自らの職業選択に対する意識の涵養を図ることを目的として、経営学の学習と関連する職業の概要を取り上げ、経済社会の動向について着目させながら、経営現場が抱えている実際の諸課題について、現地を訪れ、直接的に観察し、関係者に対する聞き取り調査やアンケート調査などを行い、実地における資料や情報の収集を行うことなどを通して、現代の経営活動を取り巻く諸情勢や職業人が果たす役割の理解とともに、卒業後の進路について考える。
授業計画	<p>第1回 【遠隔】 オリエンテーション・経営学とは</p> <p>①オリエンテーション：経営導入基礎 I の狙い、達成目標、オムニバス授業の目的について理解する。 ②経営学とは：経営学を学ぶ目的と重要性についての理解。</p> <p>予習 (時間)：シラバスを読む。経営分野に関連するニュースをチェックする。(60分) 復習 (時間)：ノートを読み返す。(120分)</p> <p>第2回 【遠隔】 経営学とは</p> <p>経営学を構成する学問体系についての理解。周辺分野についての説明。</p> <p>予習 (時間)：経営学とは何か、調べて来る。(120分) 復習 (時間)：ノートを読み返す。(120分)</p> <p>第3回 【遠隔】 経営と組織行動</p> <p>企業組織の生産性や業績に影響を及ぼす個人行動や、集団行動、そして組織そのものの行動を理解するため、実際の企業を見学する。</p> <p>【アウトキャンパススタディを予定】</p> <p>予習 (時間)：前回伝えた企業について調べて来る。(120分) 復習 (時間)：ノートを読み返す。(120分)</p> <p>第4回 【遠隔】 人的資源管理とは</p> <p>見学した企業を材料とし、企業の経営について理解を深める。雇用、報酬、労使関係の3つの視点からマネジメントを考える。</p> <p>予習 (時間)：ヒト、モノ、カネの内のヒトとはどのような資源なのかを調べて来る。(120分) 復習 (時間)：ノートを読み返す。(120分)</p> <p>第5回 マーケティングとは</p> <p>マーケティングを学ぶ目的の理解及びマーケティング分野を構成する学問体系の理解とともに、継続学修の中で専門的能力を身につけることの重要性について理解する。 経営とマーケティングの関連について考える。</p> <p>予習 (時間)：マーケティング分野に関連するニュースをチェックする。(120分) 復習 (時間)：ノートを読み返す。(120分)</p> <p>第6回 マーケティングと企業の戦略</p> <p>企業が市場で生き残っていくために、どのような計画をもってどのように活動を行っていくのか(戦略)、について考える。</p> <p>具体的な戦略を立てるためにはどのような素材が必要で、どのような考え方をすべきか。マーケティングはどのような情報を与えてくれるのか、それをどのように活用するのかを理解する。</p> <p>予習 (時間)：戦略とは何か、調べて来る。(120分) 復習 (時間)：ノートを読み返す。(120分)</p> <p>第7回 【課題】 競争優位性の考え方</p> <p>特定の企業が高い業績を上げることができるのはなぜか。競争における優位性とは何かを理解する。 ポーターの競争戦略を挙げ、事例を紹介しながら説明を行う。</p> <p>予習 (時間)：利益を上げていると自分が思う企業を3社挙げ、その理由を調べて来る。(120分)</p>

	<p>分) 復習（時間）：ノートを読み返す。（120分）</p> <p>第8回 経営における会計の役割（1）</p> <p>会計と経営の関連性、会計分野を学ぶ目的とその学び方及び会計分野に関する基礎的な知識や能力を身につけることの重要性についての理解並びに学修の動機づけを図る。</p> <p>予習（時間）：会計分野に関連するニュースをチェックする。（120分） 復習（時間）：ノートを読み返す。（120分）</p> <p>第9回 経営における会計の役割（2）</p> <p>会計情報とは何かを理解し、財務諸表の役割を学修する。財務諸表から分かることを、実際の決算書等を見ながら説明する。</p> <p>予習（時間）：財務諸表とは何か、どのようなものがあるか、またその役割について調べて来る。（120分） 復習（時間）：ノートを読み返す。（120分）</p> <p>第10回 【課題】 貸借対照表、損益計算書</p> <p>アウトキャンパススタディにて訪問した企業の財務情報を見てみる。 【グループワーク】</p> <p>予習（時間）：訪問した企業の財務状況を調べて来る。（120分） 復習（時間）：ノートを読み返す。（120分）</p> <p>第11回 経営情報とは</p> <p>経営と情報の関連性を理解する。情報分野を学ぶ目的とその学び方及び情報分野に関する基礎的な知識や能力を身につけることの重要性についての理解並びに学修の動機づけを図る。</p> <p>予習（時間）：情報分野に関連するニュースをチェックする。（120分） 復習（時間）：ノートを読み返す。（120分）</p> <p>第12回 経営における情報技術の活用と展望</p> <p>企業経営においてどのように情報技術が活用されているのかを事例を見ながら理解する。情報化が加速している現代において、業務がどのように変わってきているのかについて考える。</p> <p>予習（時間）：企業で使用されているソフトはどのようなものがあるのか、調べ、考えて来る。（120分） 復習（時間）：ノートを読み返す。（120分）</p> <p>第13回 経済と経営環境</p> <p>経済と経営の関連性について理解する。経済分野を学ぶ目的とその学び方及び経済分野に関する基礎的な知識や能力を身につけることの重要性についての理解並びに学修の動機づけを図る。</p> <p>経済が企業経営に与える影響について考える。</p> <p>予習（時間）：経済分野に関連するニュースをチェックする。（120分） 復習（時間）：ノートを読み返す。（120分）</p> <p>第14回 日本経済と企業経営</p> <p>市場経済とミクロ経済学について説明し、企業への影響について考える。また、経済政策の事例を挙げながらマクロ経済学について説明し、経済全体の動きが企業に何をもたらすのかについて理解する。</p> <p>予習（時間）：経済分野に関連するニュースをチェックする。（120分） 復習（時間）：ノートを読み返す。（120分）</p> <p>第15回 【課題】 経営学と関連する職業</p> <p>今まで学んで来た経営、マーケティング、会計、情報、経済の分野において、どのような職業があるのか説明する。実在する企業名を挙げながら各職業についての特徴を理解する。</p> <p>予習（時間）：どのような職業があるか、業種と職種について調べて来る。（120分） 復習（時間）：全体の復習を行い、定期試験の準備をする。（240分）</p>
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	ディプロマポリシーで掲げられている「専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力」を身に付ける授業である。 【身に付くスキル】 情報活用能力・協働力
到達目標	(1) 経営学や商学全般に関する基礎知識を習得し、学修事項に関連づけることができる。 (2) 卒業後の進路について主体的に考えられる。 (3) 講義内容をしっかりと聞き、理解し、板書をノートに書き写し、毎時間の課題を提出できる。

課題や小テスト等のフィードバックの方法	各担当者が授業の中で、解説をしていきます。
履修上の注意	(1) 初回の授業にて詳細は告知する。必ず出席すること。 (2) アウトキャンパススタディ (OCS) を予定している科目であるため、OCS には必ず参加すること。
成績評価の方法・基準	担当者ごとに課されるレポートや課題50%、定期試験50%
教科書	
参考書・教材	【教材】 必要に応じて、講義時に配布します。
備考	2020年度は、7、10、15回を課題研究として学修する。 第7回の授業は、課題研究として学修します。課題研究の内容及び指示は、第5回、第6回の対面もしくはオンライン授業で行います。全体で330分の学修を想定しています。 第10回 サンデンホールディングス第94期有価証券報告書について、レポートを作成し、提出期日までにMellyで提出すること。9、10回の授業時に有価証券報告書のダウンロードの方法や、有価証券報告書の見方、具体的レポートの作成方法については、指示します。実作業全体で330分の学修を想定している。 第15回「授業時の講義内容」に充当する資料と「授業時の指示」を代替する資料の配信、および作業指示をmellyなどで行い、調査結果の章レポート作成や提出は当初シラバス通りに実施する。全体で330分の学習を想定している。 「成績評価の方法・基準」の「定期試験」は「最終レポート」で代替する。実施の方法と評価基準は、授業中およびmellyで告知する。
教員との連絡方法	melly